

2022年3月期 第2四半期
決算説明会

YSK 焼津水産化学工業株式会社

2021年11月30日

- ① 2022年3月期 第2四半期 連結決算業績
- ② 中期経営計画の進捗状況及び
2022年3月期 通期連結決算業績予想
- ③ 質疑応答

① 2022年3月期 第2四半期 連結決算業績

代表取締役社長 山田 潤

2022年3月期 第2四半期連結決算業績

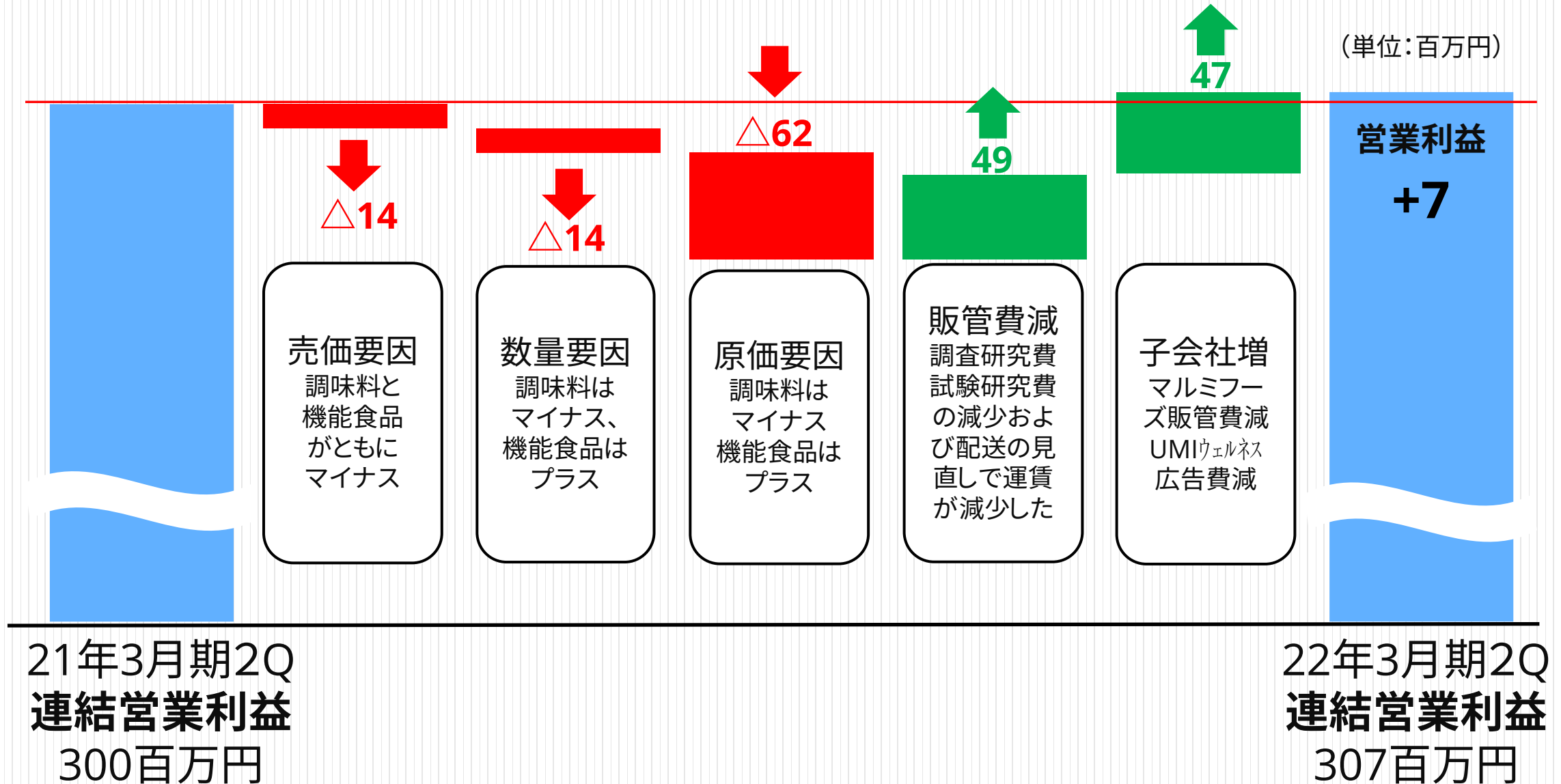
	連結				
	2021年 3月期2Q	2022年3月期2Q		前期比	計画比
		計画	実績		
売上高	7,150	6,000	6,100	△1,050 (△14.7%)	100 (1.7%)
(売上高※)	6,175		6,150	△25 (△0.4%)	
営業利益	300	300	307	6 (2.3%)	7 (2.5%)
営業利益率	4.2%	5.0%	5.0%	0.8pt	0.0pt
経常利益	311	300	340	29 (9.5%)	40 (13.5%)
当期純利益	176	550	572	396 (225.1%)	22 (4.1%)

(単位:百万円)

※収益認識会計基準等適用の
直接・間接的影響の調整後

2022年3月期 第2四半期連結営業利益 増減要因

(単位:百万円)



セグメント別 売上高

(単位:百万円)

	2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	
	売上高	売上高	前期比
調味料	3,354	3,156	△197
機能食品	1,388	1,448	60
水産物	1,931	1,009	△921
その他	477	486	9
合計	7,150	6,100	△1,050

セグメント別連結売上高推移(19年3月期2Q～22年3月期2Q)

(百万円)

8,000

7,000

6,000

5,000

4,000

3,000

2,000

1,000

0

19/3 2Q

20/3 2Q

21/3 2Q

22/3 2Q

580

1882

1500

3752

575

1943

1401

3711

477

1931

1388

3354

1025

486

1009

1448

3156

□ 収益認識(主に水産物)

■ その他

■ 水産物

■ 機能性

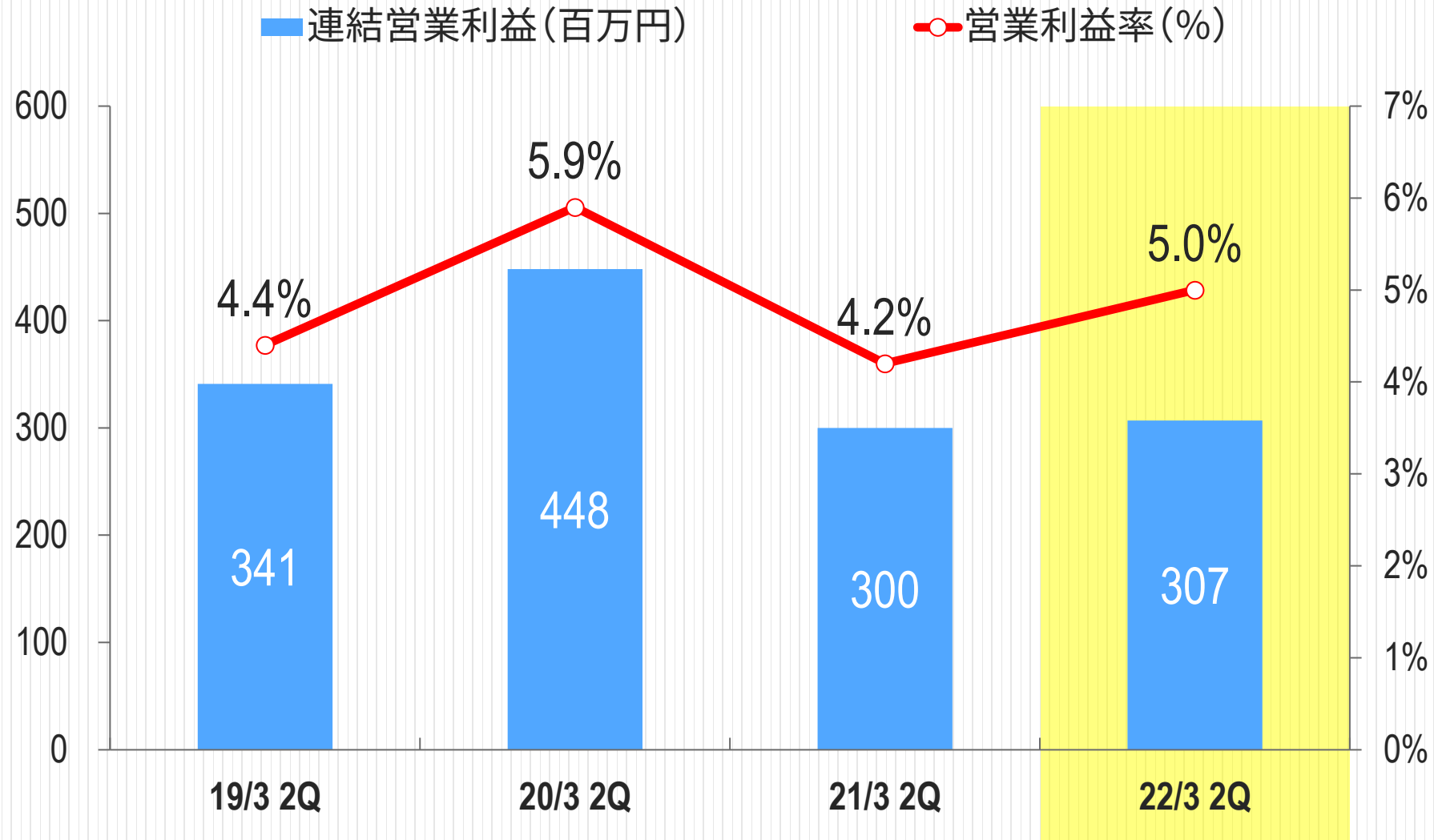
■ 調味料

セグメント別 連結営業利益

(単位:百万円)

	2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q		
	営業利益	営業利益	前期比	前期比%
調味料	308	233	△74	△24.2
機能食品	363	398	34	9.5
水産物	△12	24	36	-
その他	14	17	2	19.8
全社	△373	△366	7	1.9
合計	300	307	6	2.3

連結営業利益推移(19年3月期2Q～22年3月期2Q)



2022年3月期第2四半期 業績概要(調味料)

(単位:百万円)

		2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	前期比
売上高	液体調味料	1,589	1,452	△136
	粉体調味料	1,745	1,686	△58
	香辛料	19	16	△3
	合計	3,354	3,156	△197
営業利益	合計	308	233	△74
	利益率	9.2%	7.4%	△1.8pt

- 売上高は、液体、粉体ともに水産系エキスが減少
- 営業利益は、液体調味料の減少が響き減益

2022年3月期第2四半期 業績概要(機能食品)

(単位:百万円)

		2021年 3月期2Q	2022年 3月期2Q	前期比
売上高	機能性食品素材	1,115	1,188	72
	機能食品	272	260	△12
	合計	1,388	1,448	60
営業利益	合計	363	398	34
	利益率	26.2%	27.5%	1.3pt

- 機能性食品素材はアンセリンが堅調に推移
- 機能食品は子会社の通販で主力のNAGの販売が苦戦

連結貸借対照表

(単位:百万円)

		2021年 3月末	2021年 9月末	増 減	主 な 内 容
資産の部	流動資産	14,622	15,142	519	現金及び預金 +412 受取手形、売掛金 +186 原材料 +63 製品 △52 その他流動資産 △65
	固定資産	7,815	7,333	△482	機械装置・運搬具 △55 投資有価証券 △424
	資産合計	22,438	22,475	37	
負債・純資産の部	流動負債	2,555	2,718	162	未払法人税等 +260 短期借入金 +100 設備関係支払手形、未払金 △141 未払金 △80
	固定負債	498	344	△153	繰延税金負債 △166
	純資産	19,384	19,412	28	利益剰余金 +405 其他有価証券評価差額金 △382
	負債・純資産合計	22,438	22,475	37	

②中期経営計画の進捗状況及び 2022年3月期 通期連結決算業績予想

中期経営計画の進捗状況

2020年3月期～2022年3月期

「*Create Next YSK*」

顧客に支持される食品メーカーへ

国内調味料

顧客の
信頼回復

品質保証体制
の抜本的見直し

顧客に
支持される
品質保証体制

国内機能性

差別化と
フィールド拡大
による成長

海外展開

海外事業の
ステージアップ
に向け体制整備

新たな
事業分野創出

新規事業育成
に向けた
体制整備

経営基盤の強化戦略(コンプライアンス、コミュニケーション等)

開発機能の強化戦略 (10年スパン)

【国内調味料】 顧客の信頼回復

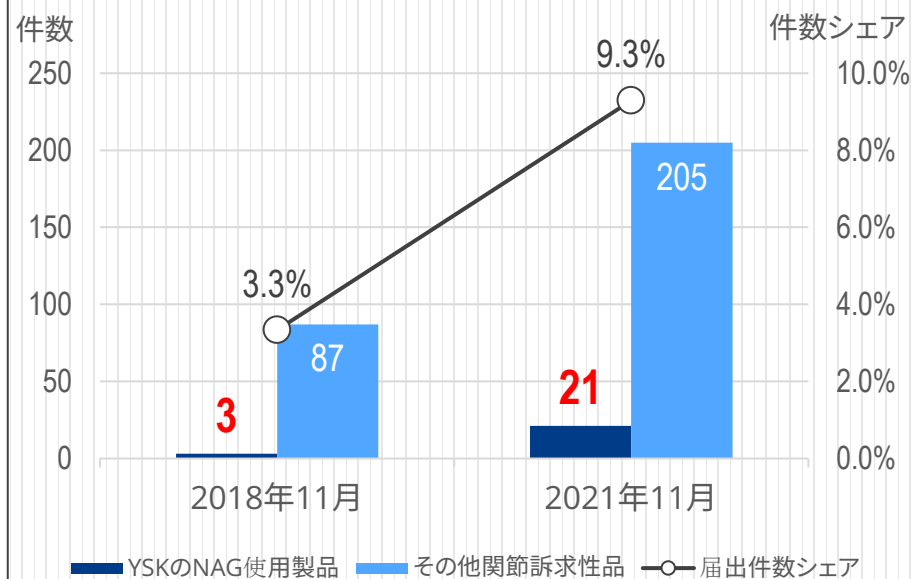
- 不正表示に関連する得意先の監査は終了し、新規案件の開発依頼が再開
- 業務用分野は、コロナ禍で顧客の新規開発案件が減少も東京ラボ活用スピード対応で実績化
- 安定納品可能な生産体制の整備
→(海外原料、特に中国産の原料調達のリスクヘッジ)

【品質保証体制の抜本的見直し】 顧客に支持される品質保証体制の確立

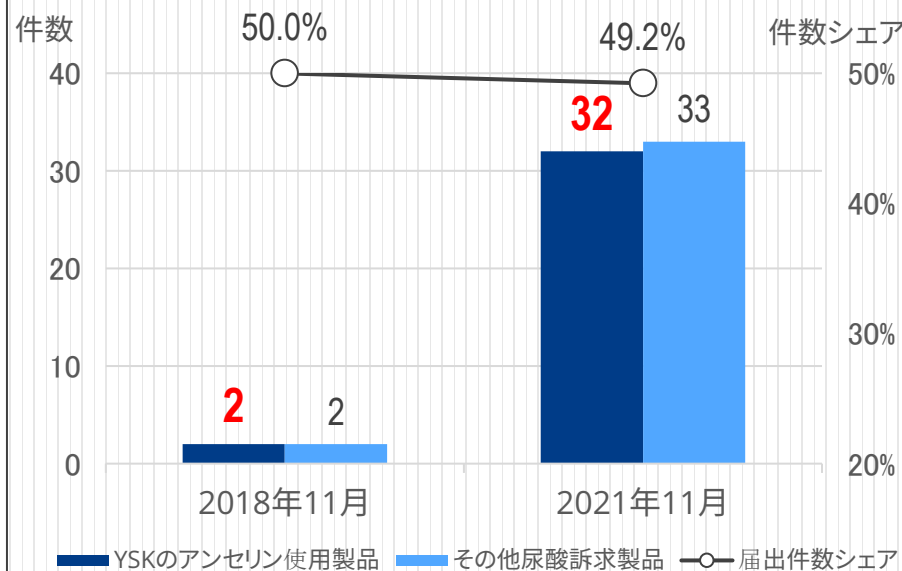
- 食品不正表示に対する再発防止策が2021年3月までに全て実施され、対策が完了
- 掛川工場に続き、大東工場、焼津・団地工場でも来春までにFSSC22000の認証取得を計画

【国内機能性】 差別化とフィールド拡大による成長

関節症状改善訴求の機能性表示食品件数



尿酸値改善訴求の機能性表示食品件数

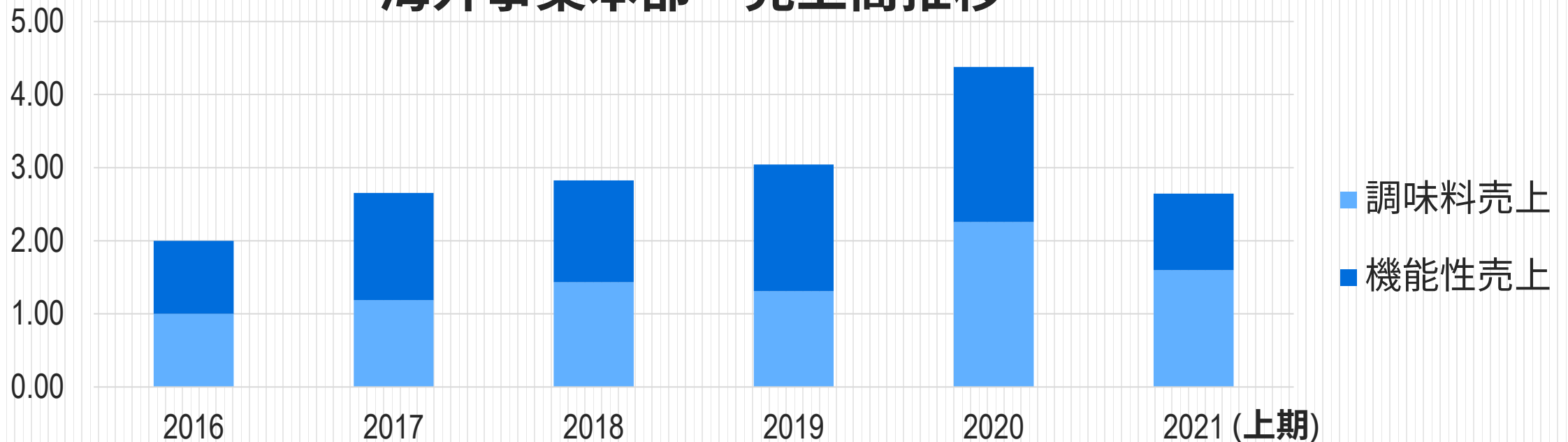


- NAG、アンセリンは過去3年で新商品増加
- 新規素材の「フコース」は機能性表示食品の商品化計画が複数進行中

【海外展開】

海外事業のステージアップに向けた体制整備

海外事業本部 売上高推移



2016年の調味料、機能性の売上を1とした伸長率

【海外展開】

海外事業のステージアップに向けた体制整備

- 海外事業本部内に新たに海外事業推進部を設置し
拠点開発を加速(2021年10月より)
- 調味料分野 戦略エキス製品の拡販
(タイ・ベトナム・中国)
- 機能性分野 各国の原料認証制度の活用

【食の未来ファンドへ出資】

食の周辺領域の取り組みを拡大し、
サステナブルな社会の実現へ



- 中期経営計画に掲げた「新たな事業分野創出」の拡大
- フードテック領域のスタートアップ企業の情報の共有
- 当社の持つ開発・製造・販売ノウハウとの融合
- 新たな価値創造の加速と事業領域の拡大
- スタートアップ企業への継続的な出資の拡大検討

個別戦略(5)-2 新たな事業分野創出に向けて

【直近の食の未来ファンド投資先】

【フードロス】



【一次産業の人材不足解消】



【調理と食品加工のDX】

Spicescode

【特殊冷凍・食EC】

Qualiarth

【腸内細菌】



【クラウドキッチン】



【IoT農業ロボット】

Legmin

【植物肉(Plant-based Meat)】



【IoTロボット・パーソナライズ】

teplo

【植物工場】



＜ファンド概要＞

- 名称: 食の未来1号投資事業有限責任組合
- 設立日: 2020年10月1日
- 無限責任組合員(GP): kemuri ventures合同会社
- 運用期間: 2020年10月～2030年9月(10年間)
- ファンド規模: 総額 約12億円
- 主な投資対象: フードテック領域のスタートアップ
- 主なLPパートナー:
 - 株式会社丸井グループ、株式会社静岡銀行、
 - 株式会社バリュークリエイト、
 - レオス・キャピタルワークス株式会社
- kemuri ventures合同会社 会社概要
 - 所在地: 東京都新宿区若宮町
 - 代表者: 岡田 博紀
 - 設立: 2020年5月

プライム市場選択と改善計画書の提出に向けて

2021年8月27日

**プライム市場を選択することを取締役会で決議
未達の基準2項目（流通株式時価総額、売買高）に関して
対応を進め、基準をクリアする**

- **流通株式時価総額（基準：100億円以上）
流通株式数の増加（持合い株式の見直し）や積極的なIR活動**
- **売買高（基準：2,000万円／日以上）
個人投資家、機関投資家への積極的な情報発信、IR活動**
- **新CGコードへの対応（サステナビリティなど）**

2022年3月期 連結業績予想(概要)

(単位:百万円、%)

	2021年3月期(実績)			2022年3月期(計画)					
	上期	下期	通期	上期 実績	前年 同期比	下期 計画	前年 同期比	通期計画	前年 同期比
売上高	7,150	7,161	14,312	6,100	△1,050	5,900	△1,261	12,000	△2,312
営業利益	300	394	695	307	7	443	49	750	55
営業利益率	4.2%	5.5%	4.9%	5.0%	0.8pt	7.5%	2.0pt	6.3%	1.4pt
経常利益	311	413	724	340	29	460	47	800	76
当期純利益	176	74	250	572	396	278	204	850	600
ROE			1.3%					4.3%	



焼津水産化学工業グループは
天然素材の持つ無限の可能性を追求し、
“おいしさと健康”を通して豊かな生活に貢献します。